



日本生産性本部
主席経営コンサルタント
加瀬 元日



(かせ もとひ)
1972年生まれ。神奈川県出身。慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科修士課程修了。

ナイキジャパンにて、直営店ビジネスの構築に従事し、直営1号店、2号店の店長を経て、本社にて店舗オペレーション業務を担当。日本生産性本部「経営コンサルタント養成講座」を修了し、中期経営計画策定、デザイン思考に基づくビジネスモデル作り、ストアブランド開発、マーケティング強化などのコンサルティングおよび企業の改革・改善を担う人材育成に携わる。中小企業診断士。経営品質協議会認定セルフアセッサー。E Qグローバルアライアンス公認E Qトレーナー／E Qプロファイラー。全米NLP協会公認NLPトレーナー。米国NLP&コーチング研究所公認NLPプロフェッショナルコーチ。LABプロファイル®コンサルタント／トレーナー。主な著書として、『企業経営の理論と実践』（共著、学文社）などがある。

●絶対的な正解なし

私は30歳の時に日本生産性本部の門をくぐった。「日本の社会や経済の発展に貢献したい」「豊かな世の中を創るには素晴らしい企業を生み出すことが重要

なではないか」「本当に良い会社とはどのような会社なのだろうか。公益を大切にする財団法人だからこそ本物を追求し、未来志向で質の高い企業支援ができるのではないか」、そのような考えに期待を膨らませ

第二の仕事人生のスタートを切った。

戦略やオペレーションへの意識が強かった私が、当財団で最初に教わったことは「経営とは志である」と

「志」が経営の原点である

という言葉である。約半世紀のキャリアを持つベテラン経営コンサルタントからの言葉に強い衝撃を受けた。

人生と同じように絶対的な正解はないのが経営である。約半世紀の経験から、成し遂げなければならない大切な使命(ミッション)とは何なのか?」そして、「それらを完遂させる

気持ちの強さや実行力(コミットメント)はいかほど

を想い、時としてわくわくするような、本当に目指したいもの(パーパス)は何なのか?」「自分(達)の内にある利他の心や貢献欲

経営コンサルタントはどのような機能が促進されるか?」ということである。

●経営コンサルタントの役割

企業は環境変化に適応しながら進化していかなければならない。そこには「生き残る」という生物的な生存欲求と「夢」や「目的・目標」の実現という人間ならではのポジティブな欲求が混在する。そして、企業は的確な事実認識・未来予測の下、各ステークホルダーの顕在・潜在ニーズを汲み取り、事業化と実践を行う。

●今後へ向けて

AI技術の進歩など、次々に生じる環境変化により、多くの企業や人々は自分達のあり方自体を問われていくことになるであろう。そのような中、「志」は今後、素晴らしい企業創造や自己実現を図る上でキーポイントになる。

15人の経営コンサルタントによる
生産性向上策
～企業の成長と、働く人のウェルビーイングを目指して～

公益財団法人 日本生産性本部
コンサルティング部 編

生産性とは元来、進歩や、明日は今日に勝るといふ精神が、世界を動かす。できるだけ良い方へ、少しでも前へ、企業の成長と、働く人のウェルビーイングを目指して、あなたの明日は、どんなだろう。いついかに前へ

公益財団法人 日本生産性本部
生産性情報センター

Chapter 4: 企業・従業員・顧客の生産性を高めるビジネスモデルの構築

企業・従業員・顧客それぞれにとって高い価値や生産性を実現するビジネスモデルであれば、事業の持続的発展が期待できる。そのためには三者が共感、共有できる価値観・パーパスをベースにしたビジネスモデルを生み出し、生産性の分母・分子を改善していくことが重要になる。また、志とウェルビーイング(幸福)を併せ持つ従業員を創出することはこの効果をさらに高めることになる。

ながら、自己研鑽に励みつつ、「志」を大切にすることで、企業や人々をしっかりと支援していきたく